

報道機関 各位

習志野市

京都府京田辺市との災害時相互応援協定締結について（お知らせ）

習志野市では、このたび京都府京田辺市と災害時相互応援協定を締結することとなりましたので、お知らせいたします。

本市における自治体間の災害時相互応援協定につきましては、これまでも都市間交流を行っている千葉県南房総市及び山梨県富士吉田市と協定を締結しておりますが、遠隔自治体との協定締結は京田辺市が初めてとなります。

【協定締結に至った経緯】

習志野市と京田辺市とは、平成16年度に京田辺市消防団が本市消防団を視察したことを契機に、消防団において相互の視察や情報交換などの交流があることから、この交流を更に深めるとともに、両市の防災対策を強化させるため、災害時の相互応援について協議を進め、このたびの協定締結に至ったものです。

【協定の主な内容】

- 大規模災害発生時には、職員の派遣、生活必需品や資機材の提供、被災者一時収容施設等の提供、情報発信協力、その他特に要請のあった事項等について、相互に応援・協力する。
- 必要に応じ防災訓練への参加や勉強会の開催等、平常時から地域間交流に努める。

【協定締結】

習志野市長が京田辺市を訪問し、協定の締結を行います。

日 時 平成25年1月29日（火）

場 所 京田辺市役所

出席者 習志野市：宮本市長、諏訪企画政策部長、櫻井危機管理課長
京田辺市：石井市長、鞍掛副市長、井上危機管理監

【京田辺市について】

平成9年4月に旧田辺町の市制施行により誕生。京都・大阪・奈良の3都市を結ぶ三角形のほぼ中心に位置し、古くから交通の要衝として栄え、歴史遺産や伝統行事などが数多く残る一方、近年は大規模な宅地開発や交通網の整備、関西文化学術研究都市の建設などに伴い人口が急増しており、新旧の文化が融合している文化田園都市です。市内には同志社大学、同志社女子大学があり、産学官が連携したまちづくりがすすめられているなど、本市と共通する部分があります。（参考：京田辺市市勢要覧）

- ・面積：42.94 km²
- ・人口：65,462人（H25.1.1現在）
- ・世帯数：25,928世帯（H25.1.1現在）